

鹿児島県看護人材確保計画の概要

- 【策定趣旨】** 看護人材の安定的な確保・育成の重要性について、関係機関が共有し、各々の役割や、取り組むべき基本的な方向性をしっかりと認識し、計画的に看護人材の確保・育成を進めていくために策定
- 【位置付け】** 関係機関と連携して計画の実現を目指すとともに、計画を踏まえて各々が自主的に看護人材確保対策の取組みを推進するための基本指針
- 【期 間】** 5年間（令和3年度～令和7年度）【必要に応じて見直し】
- 【進行管理】** 「鹿児島県看護職員確保対策検討会」において評価・見直し

看護人材を取り巻く現状

■就業の状況

・就業者数は年々増加しているものの、高年齢化が進行

○就業者数

H20：28,748人 → H30：32,951人（+4,203人）

60歳以上 H20：777人（2.7%） → H30：3,586人（10.9%）

30歳未満 H20：5,779人（20.1%） → H30：4,715人（14.3%）

■供給の状況

・若年人口が減少する中、看護師等学校養成所の受験者数の減少等により、県内の新規就業者数が減少傾向

○看護師等学校養成所の受験者の推移（各年4月）

H28：2,774人, H29：2,597人, H30：2,585人, H31：2,255人, R2：2,367人

○県内新規就業者数の推移（各年3月卒）

H28：771人, H29：745人, H30：840人, H31：749人, R2：721人

■育成の状況

・複雑・多様化する保健・医療ニーズに対応し看護の質向上を図るための人材育成が必要

○特定行為研修修了者数：63人（R2年12月末現在）

○認定看護師数：303人（R2年12月末現在）

需給推計（令和7年（2025年））

○ 令和7年（2025年）の県全体の需要数31,131人に対して、2,346人の不足との推計

○ 二次医療圏では、南薩以外で119人～736人の不足との推計

	平成26年 (2014年)	平成28年 (2016年)	平成30年 (2018年)	令和7年 (2025年)			
				需要数 (A)	供給数 (B)	差引 (B-A)	
県全体	31,866	32,550	32,951	31,131	28,785	△ 2,346	
二次医療圏	鹿児島	14,002	14,602	14,874	13,808	13,072	△ 736
	南薩	3,108	3,129	3,075	2,577	2,701	124
	川薩	2,155	2,174	2,210	2,183	1,861	△ 322
	出水	1,447	1,466	1,483	1,397	1,234	△ 163
	始良・伊佐	4,531	4,629	4,660	4,275	3,986	△ 289
	曾於	1,090	1,082	1,065	1,260	960	△ 300
	肝属	2,932	2,888	2,971	2,827	2,708	△ 119
	熊毛	540	567	590	797	514	△ 283
	奄美	2,061	2,013	2,023	2,004	1,748	△ 256

看護人材確保対策

1 看護の魅力発信

○小中学生・高校生等を対象とした看護職の普及啓発 ○県政広報番組等を活用した看護の魅力発信 など

2 次代を担う看護人材の養成

○看護師等学校養成所に対する運営費の助成 ○看護師等学校養成所の看護教員等の育成 ○看護学生への修学資金貸与 など

3 職場定着・離職防止の推進

○新人看護師等に対する研修の充実 ○民間立等病院に対する院内保育所運営費の助成 など

4 就業促進・再就業支援

○ハローワークとの連携によるナースセンター利用の促進 ○未就業者・離職者に対する臨床実務研修の実施 など

5 看護の資の向上

○特定行為研修修了者の養成支援 ○中小規模の病院等の看護職員に対する研修支援 ○認定看護師等を講師とした研修の実施 など

指標及び数値目標

	指 標	現 状	目 標 値	出 典
1	卒後新人看護職員の県内就業率	55.1% (令和2年3月)	60% (令和8年3月)	看護師等学校養成所入学及び卒業生就業状況調査
2	ナースセンター紹介による再就業者数	258人 (令和元年度)	304人 (令和7年度)	中央ナースセンター資料
3	「とどけるん」届出者のナースバンク登録率	52.4% (令和元年度)	80% (令和7年度)	県看護協会資料
4	特定行為研修県内修了者数	累計63人 (令和2年12月末)	累計204人 (令和7年度末)	医師・看護人材課調べ